

令和元・2年度 会長・副会長・監事の承認（敬称略）

去る6月4日（火）・5日（水）、きゅりあん（東京都品川区立総合区民会館）小ホールにおいて、令和元年度の理事会・総会が開催されました。本年度は会則第5条に基づく役員改選期にあたり、下記の方々が理事会で選出され、総会で承認されました。

〈役職〉	〈地区〉	〈役員名〉	〈所属都道府県〉	〈備考〉
会長	東京都	入子 祐三	東京都	再任
副会長	北海道地区	黒坂由紀子	北海道	
〃	東北地区	奈良 年永	青森県	
〃	関東甲信越地区	新沼 隆三	栃木県	
〃	東海北陸地区	川合 俊平	三重県	再任
〃	近畿地区	上野 清次	和歌山県	
〃	中国地区	國友 道一	岡山県	
〃	四国地区	藤田 繁治	愛媛県	
〃	九州地区	山田 稔	沖縄県	
監事	東北地区	鈴木 幹雄	山形県	
〃	関東甲信越地区	石田 和男	群馬県	
〃	東海北陸地区	平瀬 仁紀	石川県	

*役員の任期（会則第7条から） 役員の任期は2か年とする。ただし再任することができる。

*会長は常任理事会より、副会長・監事は関連する地区連絡協議会より推薦されている。

本年度総会において、次のように「総会宣言」が採択されました。

令和元年度「総会宣言」

情報化、グローバル化が急速に進展する不透明な時代を、たくましく、しなやかに生きていく人材の育成には、教育尊重の気運を高め、「社会総がかり」で教育を行うことが大切である。また、今日の社会保障制度改革の動向を見据えて、会員の福祉の増進に努める必要がある。

この時に当たり、全国連合退職校長会は「変化を恐れず創造の営みを間断なく実践する」との思いを強くし、知恵と工夫を念頭に、各都道府県退職校長会の連合体としての活動を進めていく。

ここに、総会において、下記事項の実現に尽力することを宣言する。

記

- 一 各都道府県退職校長会との連携を一層密にし 健全な教育世論を喚起し、教育の振興に寄与する
- 一 質の高い学校教育を実現するため 教育条件の整備・充実を期し 政府・関係機関への要望や意見具申を強化する
- 一 将来展望の持てる年金制度をはじめ 高齢者の負担が過重にならないよう配慮した持続可能な社会保障制度の改革を求め 会員の福祉の増進に努める
- 一 学校支援事業や社会貢献活動など地域学校協働活動への参加を通して 家庭や地域の教育・文化の振興に努め 併せて生きがいのある生涯学習を実践する
- 一 会員相互の絆を大切にし 情報の共有や共通理解を図り 校園長会や関係機関との連携を一層深め 組織の拡充・活性化を着実に進める。
- 一 国民こぞって教育の在り方を考える日として 国民の祝日「教育の日」の制定と活動内容の充実を図るため 関係機関や団体とともにその推進に努める
- 一 東日本大震災・原発事故並びにそれに続く自然災害等で被災された地域の復興と教育環境の正常化を政府や関係機関に求めるとともに 会員の相互扶助と連携の精神により支援に努める

令和元年六月五日

第五十五回 全国連合退職校長会 総会

事務局長の交代について

全国連合退職校長会事務局長が、令和元年6月6日を持ちまして、徳永裕人から川井 仁に交代いたしました。以前同様のご支援・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。なお、事務局次長の中原慎三は都合により退任いたしました。後任は、今のところ未定です。